

本気ですれば、たいていのことはできる 本気でやれば、何でも楽しい 本気でしていると、誰かが助けてくれる

これは、始業式で校長先生がお話をされた、詩の一部です。こういう視点でこれまでの経験や生活を振り返ってみると、この言葉のとおりだなと思うことがたくさんあります。夢の実現のために、本気になって取り組む2学期にしましょう。

1 本気ですれば、たいていのことはできる。

本気でやらないことは、「～は苦手だ。」「自分には無理だ。」と自分にストップをかけていることと同じです。特に自分のにとって苦手なことには、本気で取り組んでみるのが大事です。やってやれないことはない。気力や量が足りていないだけかも知れません。学習、部活、習い事に本気でぶつかっていきましょう。たいていのことはできるはずです。

2 本気でやれば何でも楽しい。

「いやいややる。」「手を抜いてやる。」「だらだらやる。」これでは本当の楽しさは生まれません。本気で一生懸命やった結果、楽しかったとを感じるのです。これまでを振り返ってみても、楽しいのは一生懸命やってきたことではないでしょうか。退屈に思えることも前向きに組み、「きつかったけど楽しかった。」を目指しましょう。本気の楽しさを今、身に付けましょう。

3 本気でやれば誰かが助けてくれる。

本気でやったときに、クラスやチームに「この人がいてくれて助かった。」という経験をするものです。本気でやらずして、救いの手は差しのべてもらえません。助けてもらうことを期待するのではなく、本気でやり、本気でやる人を助けたり応援したりする集団を目指していきましょう。

「本気」が自分を高めてくれるのです